

# 北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2014年12月23日 第74号

TEL 592-5000 fax 571-4346

803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F

URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

## 第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 憲法ネット第11回総会、新年度に一層の飛躍をめざす

記念講演「安倍政権の改憲暴走と日本のゆくえ」(渡辺治氏)は、参加者に大きな激励!

9条の会・北九州憲法ネット  
事務局長 野瀬 秀洋

11月29日に行われた「9条の会・北九州憲法ネット第11回総会」は、小倉北区・ムーヴ大ホールで開かれ、140名の方が参加しました。

今年は、憲法ネット10周年記念総会であり、大型の記念講演として、渡辺治憲法講演会を行いました。また、パンフレット「10年の歩み」も作り、参加者に配布しました。

総会では、司会を諸隈美波弁護士が行い、憲法ネット・荒牧啓一座長の主催者挨拶の後、三輪俊和副座長が、憲法ネットの総括と、新年度の行動方針、および役員の方針を述べ、参加者の拍手で、確認されました。新年度の一層の飛躍をめざします。

渡辺治さんの講演は、「安倍政権の改憲暴走と日本の行方—改憲を阻む国民的共同を—」と題して、質疑含め、2時間半の長い講演となりました。参加者からは、「大きな感動をいただいた。明日からも憲法運動でがんばる」などの意見がよせられ、成功裏に終わりました。

安倍政権は、この国を大きく方向転換させようとしている。今までの、海外では戦争はしない、軍事大国にはならない、アジア諸国とは良好な関係を結ぶという外交のあり方、国民皆保険を柱とした社会保障の構造、6・3・3・4制という平等な学制、教育委員会による教育行政など、これまで、国民の運動により、維持されてきた諸制度を、



講演する渡辺治氏

渡辺治さんの話は、「安倍政権とは何か」から始まりました。

以下、話を(筆者の責任で)、要約して紹介します。

(「9条の会・北九州憲法ネット」のホームページで、講演の録音を聞くことができます。)

「日本の改革を阻み、停滞させた元凶」とみなし、その破壊に挑戦している。安倍を駆り立てるのは「強い日本」すなわち日本の大国化という目標、その目標を集約するのが憲法「改正」。

そして、安倍政権を倒しても、この課題は、あくまで保守的課題であり、日本社会が抱える深刻な困難は解決しない。しかし、安倍を倒す「国民

的共同」の力によって、はじめて、戦後の構造的  
欠陥の改革に取り組む第1歩を踏み出すことが  
できる。

### それでは、安倍政権をどうしたら倒せるのか？

安部政権の持つ第一の矛盾は、軍事大国化  
と新自由主義改革を強行するために、国民の生



第11回総会で開会あいさつをする荒牧啓一弁護士

### 安保闘争の教訓を生かして

安部政権の倒し方が、今後の政治を左右する。  
戦後唯一の国民的共同の経験である安保闘争  
(1960年)の教訓をくみ取るとは重要。社会党と  
共産党、これを結びつけた総評、この3者で作る

### 平和と民主主義の声が合流

安保の第二の教訓は、岸内閣の安保条約強  
行採決以降、平和を求める声に加え、安保には  
賛成だが、岸内閣のファッション的なやり方による  
戦前のような独裁政治への復古は許せないとい  
う「民主主義」の声が合流したこと。強行採決は

### 現代の国民的共同の強みで！

しかし今、“安保”の再来はない。社会党も総  
評もない。しかし、当時にはない、有利な条件も  
出てきた。現代の国民的共同は、地域を根城に、  
保守の人々との共同、女性、市民運動の力、中  
高年と若者のパワーを組織し、韓国をはじめ、ア  
ジア諸国の市民運動との連携しながら、戦後の

### 参加者の感想のいくつかを紹介します。

\* 渡辺さんの長い講演に、安倍内閣への怒り  
と、運動への熱い思いを感じました。それ  
と同時に、これまでの安倍内閣の歩みをじ

活を全面的に困難に陥れざるをえない。第2の矛  
盾は、安倍政権が最も力を入れているグローバ  
ル競争大国化、改憲政策が、安倍政権に反対  
する革新の人々にとどまらず、これまで保守政  
権を支えてきた広範な保守層からも反発と懸念  
を呼んでいることである。第3の矛盾は、安倍  
の固執する歴史修正主義が広範な国民のみならず、  
アジア諸国さらには欧米諸国の懸念を呼んで  
いること。安倍政権が生み出す、こうした矛盾  
と脆弱性を、国民の運動によって顕在化させ、  
安倍政権を包囲する共同を作り出すことが今後  
の課題。

「安保改定阻止国民会議」。これによって、23  
次にわたり統一行動が行われ、広範な市民の結  
集をもたらした。これと、国会での社会党・共  
産党での追及を結合して、岸内閣を追い詰めた。

それまでの運動の幅を一気に広げ、文字どお  
り国民的共同を作り出した。これが、その後50  
年続く、海外での武力行使をしない原則を作り  
出す契機となった。

日本の原則・海外で武力行使をしないという  
原則を擁護する一点で、大きな輪をつくること  
である。

そして、「安倍政権の改憲を食い止めること  
が出来れば、9条の原則を具体化する新しい日  
本への大きな転換点となることは間違いない。」  
と力強く結びました。

っくり、詳しく話して頂き、とても勉強に  
なりました。とても良い講演でした。(性別  
別。年代不明)

- \* 今回の渡辺治一橋大学名誉教授の講演を聴いて、安倍慎三総理大臣に対して、ますます怒りを感じました。1億2千万人の日本国民を何だと思っているのでしょうか？再び、ファシズムの国にしようとしているのでしょうか？もう、一刻も早く退陣させないといけませんね。改めて実感しました。(男・30代)
- \* 解りやすく、とても良かったです。もっと多くの人に、今日のこの講演を聞いて欲しかったです。“もったいない”です。(女・60代)
- \* 圧倒的なパワーのお話で、わかりやすく目を見開かされた感じ！暮らしを良くする対案を作るべき、というのは、そのとおりと思うのですが、それを掲げてくれる野党が、今、あまりに弱い！それは、どう思われますか？と聞きたい。(女・50代)
- \* とてもわかりやすかった。自分なりに原発、平和の問題に頑張っているつもりですが、自分の育った労働組合の弱体化などで、これで大丈夫かな・・・という不安な気持ちに陥ることもしばしばだったけど、最後の「共同の5つの条件」に、すごく元気をもらいました。(女・60代)
- \* 自分と家族以外の考えを知りたかった。9

条の会・東京に署名を送っていた。この講演会で、近くにたくさんあるのを知って良かったです。講演会、とても良かったです。

(男・60代)

- \* 「閣議決定をどう見たらいいのかわかりました。閣議決定ですぐに集団的自衛権が行使できるような雰囲気を感じました。(立法は国会できめると知っていても)閣議決定とか言うような、何か紛らわしい言葉です。議案は国会で提出されるの(各政党が)だったのでは？(女・70代)
- \* 大変わかりやすく整理されたお話でした。歴史的な問題点から、今後の展望まで、筋道を立てて、お話していただいたので、よくわかりました。(男・50代)
- \* とてもいい講演でした。渡辺さんの伝えたいとの思いに打たれました。9条の会に入ろうと思いました。希望を失いかけていた中で、明かりを灯してもらったような気がします。多くの人に聞いてほしい講演会でした。(男・50代)



## 子どもの村中学校で、憲法9条の話をしました

小倉南法律事務所  
弁護士 柏崎 愛

2014年10月9日、平尾台にある子どもの村中学校で女性総合法律事務所ラレーヌビクトリアの里本麻衣先生と一緒に、憲法9条についての講演をさせて頂きました。

このお話を頂いたきっかけは、子どもの村中学校の高橋先生と代表者の生徒さんが9月20日に生涯学習センターで行われた「はじめての憲法おはなし会」に参加されたことです。

生徒さんたちは今年開校9周年なので、「9」という数字にちなみ、最近話題となっている憲法9条について調べようとなったそうです。

里本先生と私で、憲法おはなし会でも使用した立憲主義の紙芝居を用いて、まずは立憲主義とは何かということを説明し、次に簡単に日本国憲法の成り立ちや役割、特に「民主主義」、「基本的人権の尊重」、「平和主義」という重要な憲法の理念を説明しました。

さらに憲法9条の説明として、戦前の憲法と比較をしつつ現在の9条の通説的な考え方を説明しました。最後に、9条にかかわる問題として集団的自衛権の話をしたあと、時間をとってグループになり各自質問や意見を考えてもらいました。

生徒さんの中には「9条には戦争はしないと書いてあるのに自衛隊があるのはなぜ?」、「自衛隊は戦力じゃないの?」など、非常に素直で鋭いものが多く、私たちも十分打ち合わせをして臨みましたが、分かりやすく質問に答えるのはなかなか大変でした。

生徒さんは実際に戦争を体験された方の話も聞きに行き、戦争の悲惨さを知り、戦争は絶対にしてはいけないものだと考えたそうです。しかし、社会では集団的自衛権や自衛隊の海外派遣などという言葉が飛び交い、「憲法には戦争はダメ、戦力は持たないと書いてあるのになぜなんだろう」と疑問に思っているのがとても伝わってきました。

これから大人になっていく中学生たちが憲法の大切さ、平和の大切さに興味を持ってくれ、個人が尊重され平和な社会になるよう、これからも自分たちで考えようと思ってくれたことが大変嬉しく感じました。

憲法9条や集団的自衛権をめぐる話を中学生に分かるように説明するのはとても難しかったのですが、一人一人が真剣に話を聞き、議論に参加して積極的に発言してくれました。若い人は、憲法の役割や大切さを真剣に考えているのかと不安に思う大人はいるかもしれませんが、決して若い人は無関心ではありません。政治的なことや平和に関することも、まずは色々な人の意見を聞き、議論することが大切だと実感しました。

## カンパありがとうございます。そして、お願い!

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名 義：「九条の会・北九州憲法ネット」

**カンパ 10月** 横井和江 小泉孝 末安良光 渡辺末子 小沢和秋 佐多道人 川原巍誠 藤川靖子 **11月** 有馬真弓 川辺希和子 樋口コスエ 外山和子 内村敏男 小沢和秋 松永奉義 勝木多美 野瀬秀洋 高智彦 玉井史太郎 中西寿子 石橋眞智子 尾鶴真 阿部陽子 竹中労 清松賢治 松井岩美 松井玲子 森田清美 三崎英二 川原巍誠 近藤伊津子 小野恂一郎 小野文子 平岡博 美濃部勝 美濃部恒子 **12月** 銭谷十九雄 浜口紀美子 三浦仁士 佐多道人

**メッセージ** 小額ですみません 10/22 Y. K ●いつも通り小額ですがカンパです。がんばってください。 10/24 O. K ●小額ですが、がんばって下さい。すみません。 11/2 A. M ●いつもニュースや情報ありがとうございます。「北九州憲法共同センター」発足と今後の取り組みに期待しています。長い困難なたたかいになるでしょうが、今だからこそ、平和憲法を国民の手にとり戻す時だと思えます。 11/4 K. K ●反共の壁厚くとも不屈なる歴史に明日の輝きあり 11/6 T. F ●9条の会結成10周年おめでとうございます。ニュースをいつもありがとうございます。少しですがカンパを送ります。 11/29 M. M

## 10周年記念行事カンパありがとうございました。 引き続き、ご支援をお願いします。

**11月** 樋口コスエ 小沢和秋 松永奉義 勝木多美 野瀬秀洋 高智彦 玉井史太郎 田口政子 中西寿子 松濤秀道 小倉東総合法律事務所 尾鶴真 吉野高幸 入江英之 松井岩美 松井玲子 **12月** 弁護士後藤景子

